

石狩八幡小学校開校準備委員会 第8回会議【質疑要旨】

- ・日時 平成30年10月25日(木) 18:30～19:35
- ・会場 八幡コミュニティセンター 会議室

・出席者

委員

[保護者]

- 柿崎 明子 八幡小学校PTA副会長
- 鈴木 諭美江 聚富小中学校PTA監査
- 富木 智之 石狩中学校PTA会長
- 熊倉 可菜 くるみ保育園父母の会
- 工藤 隆司 聚富保育園 父母の会

[学校関係者]

- 吉田 光岐 石狩小学校校長
- 三島 哲 八幡小学校校長
- 青山 司 聚富小中学校校長
- 本田 明美 石狩中学校校長〔副委員長〕

[学識経験者]

- 戒屋 健一 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター〔委員長〕

[学校支援推進員]

- 中井 元 石狩小学校学校支援推進員
- 菊地 功 八幡小学校学校支援推進員

[町内会代表者]

- 朝倉 勲 虹が原町内会会長

※教育課程部会

- 真野 智美 (石狩小教頭)、安部 由里香 (八幡小教頭)、徳田 和之 (聚富小教頭)

[教育委員会事務局]

- 佐々木生涯学習部長
- 佐藤教育指導担当次長
- 安崎総務企画課長
- 佐々木学校教育課長
- 照山指導担当参事
- 清水市民図書館副館長
- 松永総務企画課主幹
- 古屋総務企画課主査
- 石黒学校教育主事

※出席 13名

欠席 2名

(佐藤百恵委員・石狩小学校PTA副会長)

(牧野 勉委員・むつみ町内会会長)

※傍聴者 2名

● 委員長あいさつ

前回会議では、委員の皆さんから多くのご意見をいただいた中で校名について協議を行い、当委員会として決定した校名（案）の「石狩市立石狩八幡小学校」は、8月の教育委員会会議、9月に行われた市議会において提案、議決をされ、正式に決定された。統合に向かって一つの大きな山を越えることができたと思っており、今日の会議から名称も「開校準備委員会」となり、校章デザインや学校の教育目標等について協議することになっているので、引き続きご意見をいただいて、協議がまとめられるよう宜しくお願いしたい。

● 事務局より報告、説明等（松永総務企画課主幹）

- ・ 9月の定例市議会において、校名「石狩八幡小学校」が承認、決定された。
- ・ 「学校教育目標・学校経営方針等」について、昨年より関係4校の校長先生を中心に検討が行われてきたが、その原案が整った。その内容等について後ほど報告いただくほか、今後においても、統合校の教育課程等について報告等を行う必要があるため、今日の会議より関係校の教頭先生にもご出席いただくこととしたので、ご了解を願う。（→委員了承）
- ・ 前回の会議録（質疑要旨）について、訂正箇所等が無い旨、各委員からの了承を確認した。

● 校章の決定方法の協議

- ・ 別紙1の事務局案「公募によりデザインを募集（H30.11月～）」について、事務局（松永総務企画課主幹）より提案説明した。
- ・ 平成22年に開校した双葉小の校章を決定した時の選考方法、経過等について紹介した。
 - ・ 平成21年1月に募集、全国から14人・37作品の応募があった。同年2月の統合準備委員会において、委員による3回の投票を経て決定した。
 - ・ 投票1回目は委員一人5票で、上位8作品を選考 ⇒ 投票2回目は委員一人1票で、上位3作品を選考 ⇒ 投票3回目で委員一人1票として、最上位1作品を選考した。
 - ・ 採用者への褒賞は無し。

【質疑応答】

（A委員）

著作権に関して、「第三者から異議申立て、苦情等があった場合は、費用負担等も含め応募者が対応する」となっているが、「応募された校章デザインに関する一切の権利は、石狩市教委に帰属」となっており、もしそのような問題が起こった場合は、応募者がその責任を負うということではないか。

（事務局：松永総務企画課主幹）

はい。そういう理解でよろしいです。

（B委員）

東京オリンピックのロゴマークを選考したときのように、決定の発表をしてから混乱を招くようなことにならないためにも、あらかじめ著作権に抵触しているかどうかを調べる方法はないのか。

(事務局：松永総務企画課主幹)

その方法等について調査研究をしているが、他の自治体でも募集した後で、すでに使われているデザイン等を模倣したものであることが判明したケースがあったようである。このような公募の取り組みは全国各地で行われており、そのような事態にならないようにすることについて、現段階で100%の確約はできないが、特許庁等の国の機関へ照会するなど、可能な限りのチェックを行っていきたいと考えている。

(C委員)

確認になるが、応募にあたっては作品応募者の個人情報もしっかり保護し、主催者として管理していくということによろしいか。

(事務局：松永総務企画課主幹)

はい。応募用紙にもその旨記載することとする。

※以後、戎屋委員長より応募資格、応募要件等の各項目の記載内容の確認を行った。

(A委員)

選考方法について、校名もこの準備委員会で決定したので、校章デザインも同様にこの準備委員会で決めることでよいと思う。

(B委員)

慎重に段階を踏んで選考していくことはよいと思う。その過程で、最後に3つ位に絞り込まれた後、最後は子ども達に選んでもらった方がいいのではと思っている。

(戎屋委員長)

記載されているとおり、「準備委員会で決定、または関係校児童の投票を行う場合がある」として含みを持たせることによろしいと思うがいかがか。また、次回の準備委員会で候補作品の絞り込みを行う際、委員による投票の回数や児童の投票を行うかどうか等の詳細については、応募作品の数にもよるので、今、この場で決めないということによろしいか。

(全委員、了承)

(事務局：松永総務企画課主幹)

校名案の選考と同様に、募集締切後に応募作品の一覧資料を作成し、次回の会議前に各委員へ送付して、あらかじめ目を通してもらった上で会議を開催できるように執り進めたい。

(⇒ 全委員、了承)

● 学校教育目標・学校経営方針等について

・事務局（松永総務企画課主幹）より、これまでの経過等を説明した。

・昨年10月の第2回会議において、この準備委員会の傘下に「教育課程部会」を設置することについて、承認をいただいていた。2020年の開校に向けて、学校教育の目的や目標を達成するために、

児童生徒の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した教育計画のことを「教育課程」と言うが、統合校として新しく生まれ変わる石狩八幡小学校の教育課程の編制について、関係4校の校長先生が中心となって、これまで取り組んできたところである。

- ・教育委員会としては、本来、一人の学校長が、教育目標や学校経営方針等を策定するものだが、まだ、統合小学校の校長が決まっていない現時点において、関係校の校長による検討協議によって取りまとめられた、この資料（別紙2）の内容について教育委員会として尊重し、了承したいと考えている。
- ・また、別紙3のとおり、先日、石狩小・八幡小の先生方、聚富小・石狩中の先生方も含めた全体会議と、新しい学校の特色づくり、新学習指導要領への対応、地域連携、閉校開校準備といった4つの分科会が行われ、今後の取組予定が確認されたということで、それらの報告をしていただく。
- ・別紙2「石狩八幡小学校 教育目標・学校経営方針等について」、吉田委員（石狩小校長）より説明いただく。

【質疑応答】

（戎屋委員長）

最後のページの「(2) 学校経営方針（概要）（案）について」の「④支持的風土・・・」とは、具体的にどのようなことか教えていただきたい。

（吉田委員（石狩小校長））

学級や学年の中でお互いに認め合い、誰もが意見を言うことができ、納得し合える、居心地の良い学級づくりを考え、目指していくということを意図している。（⇒ 戎屋委員長、了承）

（全委員、指示・了承）

- ・別紙3「（仮称）石狩・八幡小学校設立準備委員会 第1回教育課程部会全体会議」について、石狩小・真野教頭より説明、報告いただく。

（D委員）

大変な業務だが、どうかがんばっていただきたい。宜しくお願ひしたい。

（全委員、了承）

● 聚富小中学校の児童生徒の通学先意向調査について（事務局：松永総務企画課主幹）

- ・2020年4月に石狩八幡小学校と厚田学園が開校するにあたり、教育委員会では、開校時における両校の児童生徒数や学級数、教職員数の見込みを把握するとともに、スクールバスの運行経路を定めるために、来月（11月）に、現在の聚富小学校の1年生から聚富中学校の1年生までを対象に、現時点での通学先の意向調査を行う。後日、調査票を配付し、11月末までに提出していただく予定であることを報告する。

(全委員、了承)

● その他

(C委員)

先ほど、学校教育目標や教育課程等の説明を聞き、大変すばらしいと思った。今後、コミュニティ・スクールの取組や、町内会等と学校との関わりの中で、この開校準備委員会として何か協力できることがあったら申し出てほしいと思う。

(全委員、了承)

● 次回会議について

(戎屋委員長)

次の会議については、校章のデザインの募集が終了した後、来年2月の開催を予定している。日時が決まり次第、各委員へご連絡する。

閉 会

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成31年2月19日

石狩八幡小学校開校準備委員会

委員長 戎 屋 健 一